

東京都中学校理科教育研究会 6月役員会・理事会

会長あいさつ

2010.06.08

練馬区立豊玉中学校
高 島 勇 二

会長をさせていただいて2年目となります。昨年度は、皆様のご理解とご協力によって無事活動を進めていくことができました。ありがとうございました。

今年度も、これまでの実績をもとにより活発な活動となるようお力添えください。

1 当面の動き

今年度の総会でご承認いただいた組織改訂に伴って、当面次のような動きを各担当で迅速に進めていただきたい。

(1) 都中理名簿の作成

- ・広報部による各部、委員会の名簿の作成 ⇒ ・事務局で集約
⇒ ・各理事、部長、委員長への名簿配布

(2) 各部委員会の活動計画の立案

- ・部会、委員会の実施(組織、活動計画の作成) ⇒ ・事務局で集約
⇒ ・各理事への報告

2 会員発表会及び生徒研究発表会の会場について

研究部を中心に行っている都中理の2大行事の二つの発表会について、全中理の動きを踏まえて将来的には、会場を国立科学博物館及び科学技術館に継続的に設定できるよう各機関に調整を行っていききたい。

3 都中理の活動全体について

研究会、研修会、発表会などの活動について、基本的な人材育成のための内容を基本として進めていきたい。各部、委員会の活動もその視点で計画を進めていただきたい。

4 外部機関と連携した研修会の実施

これまで、都教委や創造性育成塾、JST、科博、各種コンクールなど、外部機関の研修会やイベントなどに都中理として後援等を行ってきた。単なる後援団体にとどまらず、これまで行ってきたその企画や運営などにもかかわる動きを今後も進めていきたい。その窓口として研修部に担当を願いたい。

5 全中理東京大会に向けた準備

3年後の平成25年度東京大会に向けた準備委員会を設置したい。東京大会の基本的なねらいとなるキーワードとしては、学習指導要領の趣旨を受け、①小・中・高の連携、②活用能力の育成、③持続可能社会実現のための意思決定能力などが考えられる。そして、これらにかかわる実践研究を継続し、その集約として発表する大会としたい。今年度内にこの基本的なねらいを固め、全国に発信していききたい。

会場については、全体会1500名、分科会300名×5を想定した会場を考えていきたい。また、参加者の宿泊場所(幹旋はしない)や交通の便を考慮しつつ、①区市の境の場所：区市が一体となって取り組むため、②東京ならではの場所：参加者の期待にこたえるため、③会長などの所属する場所：運営のしやすさのためなどの条件を踏まえて、今年度内に開催地域を定めたい。